

市議会 9 月定例会の概要について（教育委員会関係）

会 期 平成 20 年 9 月 2 日から 10 月 8 日まで

(厚生文教常任委員会開催日 9 月 9 日)

(決算特別委員会設置期間 9 月 22 日～10 月 8 日)

教育委員会関係概要

(予 算)

案 件	審議結果	備 考
9 月補正予算	原案可決	概要別紙のとおり

(決 算)

案 件	審議結果	備 考
平成 1 9 年度一般会計歳入歳出決算	認 定	

(そ の 他)

案 件	審議結果	備 考
教育委員会委員の任命について	原案同意	和田重宏委員（新任） 山口潤委員（新任）

(一般質問)

別紙一覧のとおり

平成20年度9月補正予算概要

(歳入)

(単位：千円)

科目	補正額	主な内容	
(項) 国庫補助金 (目) 教育費補助金	3,833	<u>私立幼稚園等就園奨励費補助金</u> <u>史跡等保存整備費補助金</u> 史跡小田原城跡整備事業	752 3,081
(項) 寄附金 (目) 教育費寄附金	74	<u>教育総務費寄附金</u>	74
(項) 市債 (目) 教育債	64,200	<u>義務教育施設整備事業債</u>	64,200
合計	68,107		

(歳出)

(単位：千円)

科目	補正額	主な内容	財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
(項) 教育総務費 (目) 事務局費	4,077	<u>学事一般経費 その他</u> ・生徒指導員賃金 1,600 ・学区審議会事業費 349 (委員報酬等) ・青少年健全育成用図書購入費 (寄附金充当) 74 ・私立幼稚園等就園奨励費補助 金 2,054 国庫補助分 2,507 市単独分 △453	752		74	3,251
(項) 小学校費 (目) 学校管理費	2,500	<u>学校給食経費</u> ・食器洗浄機購入費(富水小) 2,500				2,500
(項) 小学校費 (目) 学校建設費	31,000	<u>学校建設事業費</u> ・屋内運動場改築設計委託料 (富水小) ・新北校舎建築設計委託料 (千代小)				31,000
(項) 中学校費 (目) 学校管理費	71,350	<u>学校管理経費</u> ・学校用地購入費(橘中) 71,350		64,200		7,150
(項) 幼稚園費 (目) 幼稚園費	5,000	<u>幼稚園管理経費</u> ・耐震補強設計・耐震診断評価 取得委託料(前羽幼) 5,000				5,000

科 目	補正額	主 な 内 容	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
(項) 社会教育費 (目) 文化財保護費	6,162	<u>史跡小田原城跡整備経費</u> ・馬屋曲輪発掘調査補助委託料 4,200 ・調査員謝礼等 1,962	3,081			3,081
(項) 保健体育費 (目) 体育施設費	36,300	<u>城山陸上競技場経費</u> ・西側フィールド補修工事請負費 <u>小田原アリーナ運営経費</u> ・外壁等防水補修工事請負費				36,300
合 計	156,389		3,833	64,200	74	88,282

平成20年9月議会の概要について

一般質問（教育委員会関係質問事項）

質問 順	議員 名	質 問 事 項	所 管 課	NO	頁
3	植田	1 国指定史跡石垣山について (1) 遺構の保全について (2) 遺構の活用について	文化財課	1 ・ 2	1
5	志澤	4 全国学力・学習状況調査について (1) 全国学力・学習状況調査とその結果に対する見解について (2) 少人数学級の効果について (3) 生活習慣と学習意欲について (4) 結果の活用について	学校教育課	3 ～ 7	1 ～ 3
9	田中	2 学校統廃合問題について (1) 学校統廃合問題を考える基準等について (2) 市立片浦中学校の現状と今後に関して	教育政策課	8 ～ 10	3 ・ 4
13	堀村	1 児童・生徒のメタボリックシンドローム対策 (1) 肥満傾向児童・生徒の現状と、メタボリックシンドローム予防対策等 について (2) 早期発見と、早期指導・治療のための施策等について	学校保健課	11 ・ 12	5

※ 一般質問

議員	NO	答弁	質問要旨	答弁要旨
植田	1	市長	石垣などの遺構の保全対策について、安全面の調査などを行っているか。また、安全対策は行う予定になっているか。	史跡石垣山については、平成16年度に専門のコンサルタントに石垣等の現況調査を委託している。その結果、北側斜面は広範囲に転落しそうな石が認められ、文化庁と協議をした結果、平成18年度から保全対策工事を国庫補助事業として、継続的に実施しているところである。また、二の丸広場へいたる管理用通路際や井戸曲輪をはじめとする各所に石垣の孕み出しが認められることから、引き続き、文化庁とも協議しながら、順次必要な対策を講じていく予定である。
	2	市長	史跡石垣山の遺構の理解を高めるために施策はどんなことを考えているのか。	平成2年度に一夜城歴史公園として整備した際、全体説明板と共に石垣等に説明プレートを設置している。その後は、歴史公園として芝や樹木の手入れ、園路の整備など公園としての管理を行っている。特に、今年の春には、南曲輪の石垣を覆っていた杉の枝打ちやアオキなどの低木の整理などを行い、石垣を見えやすくしたところである。今後も説明板の充実や石垣等に繁茂する樹木の整理など必要な施策については、積極的に進めてまいりたい。
志澤	3	教育長	全国学力・学習状況調査の結果とその見解を伺いたい。	全国学力・学習状況調査の目的の一つは、「各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る」ことである。今年度の全国学力・学習状況調査の結果について、詳細な分析はまだ行っていないが、本市の平均も、国が示すように±5パーセントの範囲内であり、概ね全国・県の平均と同程度であると解釈している。本市としても、その結果を重く受け止めており、子どもたちの更なる学力の向上をめざしていくために、今年度から市独自に、大学教授や教員等からなる検証委員会を立ち上げ、詳細な分析を行うとともに、今後の教科指導等への具体的な方向性を学校に示していく準備を進めているところである。

志澤	4	教育長	<p>本市でも少人数学級を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。</p>	<p>小田原市では、平成16年度から、小学校1年生において、35人以下の少人数学級編成を実施しており、さらに、30人を超える35人以下の学級のある学校には、スタディ・サポート・スタッフを配置し、実質的な30人学級を実現している。このことにより、児童一人ひとりに目が行き届き、個に応じたきめ細やかな学習指導ができているため、基礎的な生活習慣の確立や基礎基本の徹底による学力の定着が図られてきている。また、小学校2年生についても、35人を超える学級を持つ学校に同様のスタッフを配置し、大きな成果をあげているので、県に対して、全学年で少人数学級編成が可能となるよう、教員の配置を要望しているところである。本市では、引き続き、小学校1・2年生に対して、スタディ・サポート・スタッフ事業を実施し、実質的な少人数学級の実現をしていく予定である。さらに、今後も、国や県に教員の増員などを要望し、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の充実を図っていけるよう研究を進めていきたいと考えている。</p>
	5	教育長	<p>市では、おだわらっ子の約束で健全な生活習慣を啓発しているが、更に実践につながるように、家庭への指導を徹底すべきと思うが見解を伺いたい。</p>	<p>学力の調査では、ともすると学習方法や学習時間などが注目されがちであるが、昨年度の本市の分析結果からも、17番志澤議員ご指摘のように、家庭における生活習慣と教科の正答率の相関関係があることが分かり、このことについては、広報おだわらで、保護者・市民にもお知らせしたところである。今回の調査結果の特徴的な課題でもある、テレビの視聴時間などの生活習慣の指導にあたっては、子どもだけでなく、保護者も含めた指導を積極的に行っていく必要があると考える。今後、生活習慣や学習意欲等の関係も踏まえた分析を行い、各学校では、保護者や学校医が参加する学校保健安全委員会の議題として取り上げたり、各種広報やPTA行事、懇談会等を通して、保護者や地域に対して生活習慣の大切さを積極的に周知したりしていきたい。</p>
	6	教育長	<p>昨年度実施された全国学力・学習状況調査結果の分析結果を本市でどのように活用したのか伺いたい。</p>	<p>昨年度実施した全国学力・学習状況調査の結果については、県の分析結果をふまえて、本市教育委員会で分析し、市の傾向と今後の指導についてまとめ、各学校へ伝えた。この内容を受けた学校では、自校の調査結果と比較するなど指導のあり方を検証し、日常の指導法や教育計画の改善に活用した。また、本市教育委員会では、各学校が、学力を伸ばすための授業の改善が図られるよう指導しており、これに加え、子どもたちの学習意欲の向上と基礎的・基本的な力を確実につけていく取組みの一つとしての検定制度を充実させていくなど、さらなる基礎学力の向上に努めていく。</p>

田中	志澤	7	教育長	<p>全国学力・学習状況調査の結果の活用のための課題、内容、また、そのための人的配置などどのように考えているのか伺いたい。</p>	<p>先ほども申し上げたように、全国学力・学習状況調査の結果を活用し、子どもたちの更なる学力の向上をめざしていくために、昨年度は、市教育委員会内部で独自に分析していたものを、今年度からは、専門的な知識を持った大学教授や複数の教員等で構成する検証委員会を立ち上げ、全国学力・学習状況調査の結果を詳細に分析するとともに、今後の教科指導等への具体的な方向性を学校に示していくための準備を進めているところである。この内容を受けた学校では、自校の調査結果と比較するなど指導のあり方を検証し、日常の指導法や教育計画の改善を図っていくことになる。また、本市教育委員会は、この検証委員会に加え、学力向上対策プロジェクトチームを立ち上げ、今後の学力向上対策事業全般について具体的な取り組みを検討していく。</p>
		8	教育長	<p>全国的に学校の統廃合問題が取りざたされている。学校を取り巻く状況についてどのように考えているか。</p>	<p>全国的に少子化が進む中、小田原市においても小学校では昭和56年度、中学校では昭和61年度以降、児童生徒数の減少が続いてきた。このため、多くの学校で学級数が減少し、学校の小規模化が進展してきた。少子化の進行や地域住民の年齢構成の変化によって、学校の小規模化は、すでに過疎地域だけの問題ではなく、政令指定都市をはじめ多くの地域において大きな課題となっている。この傾向は、今後ますます顕著となっていくものと考えられることから、子どもたちが健やかに成長できる教育環境を確保するため、学校の適正な規模や配置などについては、中長期的な検討課題として、今後、調査・研究をしてまいりたいと考えている。</p>
		9	教育長	<p>学校の統廃合を考える基準としては、①子どもの幸せ、②地域のコミュニティ、③地域の合意、という視点で考える必要があると思うが、教育長はどのように考えているか。</p>	<p>学校は教育の場であるのはもちろんであるが、地域のランドマークとしての位置付けもある。また、広域避難所である小学校は、安心・安全なまちづくりとしても重要な役割を担っていると考えている。地域のコミュニティの核である学校は、非常に重要な施設であり、単なる効率性だけの視点で統廃合問題を議論すべきではないと考えている。学校の統廃合は、設置者である市町村が、教育的効果や地域の実情などを総合的に判断して実施すべきものであり、教育委員会としては、今後とも、学校施設や教育環境の充実を図るとともに、「子どもの幸せを第一に考える」、「地域の意見を最大限に尊重する」という方針で、検討してまいりたいと考えている。</p>

田中	10	教育長	<p>片浦中学校の現状とあり方を考える委員会の検討経過の内容、及び今後の教育に委員会の対応はどうか。</p> <p>片浦中学校は、私立中学校や部活動の継続を理由とした通学区域の弾力化により他の公立中学校へ進学するお子さんが増え、平成20年度の片浦中学校への進学者は2名にとどまった。このため、地域の住民代表や保護者、学校関係者などによる「小田原市立片浦中学校のあり方を考える委員会」を今年1月に設置し、片浦地域の子どもたちにとって最も望ましい中学校のあり方について議論を重ねてきた。片浦地区4会場での住民説明会やアンケート調査などを実施し、地域の皆さんや保護者などの意見要望を調査するとともに、委員の皆さんには、地域の方々と様々な場面でいろいろ議論していただいた。</p> <p>計7回の委員会を開催し、「現に教育を受けている子どもたちのことを第一に考えるべき」「片浦中学校はすばらしい学校だが、著しく生徒数が少ない現状では教育的に不安がある」「地域の一体感の観点からも同じ中学に通えるようにすべき」「交通の利便性や安全性を考慮すべき」など議論を重ねた結果、「片浦中学校を平成22年3月で閉校し、片浦地域の学区を城山中学校とする。また、平成21年度は経過措置として、城山中学校への指定変更を認める。」との内容の提言書が8月25日に教育委員会あて提出された。</p> <p>教育委員会ではこの問題を地域の皆さんと考えていくにあたり、「子どもの幸せを第一に考える」、「地域の意見を最大限尊重する」との方針で臨んできた。したがって提言書の内容を尊重し、提言内容に沿った方向で対応していきたいと考えている。今後は、「小田原市学区審議会」に、片浦地区の中学校区の変更などを諮問して答申を受けた後、教育委員会で議論いただき承認されれば、市議会12月定例会に条例改正案を提出させていただき、来年の4月以降も子どもたちが安心して教育を受けられる環境を整えていきたいと考えている。</p>
----	----	-----	---

堀村	11	教育長	<p>肥満傾向にある児童生徒の割合はどの位なのか、また、調査結果を踏まえた課題と対策について伺いたい。</p>	<p>児童・生徒の肥満傾向については、4月に実施する定期健康診断時に体重・身長を計測しローレル指数に基づき把握している。平成19年度の肥満傾向児童生徒の割合は、学校保健関係統計資料から、小学校10,886人中太っているのは846人で7.8%太りすぎは544人5%、中学校5,074人中太っているのは312人で6.1%太りすぎは284人で5.6%だった。小田原市における、過去10年間の肥満傾向の推移を見ると小中学校とも減少傾向にあるが小学校では全体で12.8% 中学校では全体で11.7%となっている。調査の結果を基に、小田原市学校保健会で監修したテキスト「これでいいのこどもの生活習慣」を教材に、各学校においては学校医・学校歯科医・学校薬剤師・校長・養護教諭・栄養士・保護者で構成される学校保健委員会や保健体育の授業などの時間を利用し、担任や養護教諭等が児童生徒及び保護者に対し食生活・運動・生活リズムにむけた正しい知識の普及を図っている。今後、肥満予防を効果的に進めるため小田原市学校保健会監修のテキストにあるチェックシートや学校通信を有効に活用するための行動計画を作成するなど研究を進めていく。</p>
	12	教育長	<p>肥満傾向にある児童・生徒の早期発見と早期指導・治療の現状及び今後の取り組みについて伺いたい。</p>	<p>次に肥満傾向にある児童・生徒の早期発見と、早期指導・治療の現状及び今後の取り組みについて質問があった。定期に実施する体重・身長の計測や腎疾患検診・糖尿病検診や保健調査票などから肥満傾向にある児童・生徒を早期に発見している。健康診断の結果、必要に応じて専門医を紹介し治療に結びつけたケースもある。肥満傾向のある児童・生徒に対しては、学校医と指導方針を決め、定期的に計測をし、養護教諭の個別指導へと結び付けている。更に、健康手帳を活用し、学校と学校医と保護者との連絡を密にする他、担任による家庭訪問を行い生活上の注意を促している。今後、肥満傾向のある全児童・生徒に対して、学校医及び養護教諭等による栄養・運動指導だけでなく、先進市の取り組みを参考に専門的な受診につなぐことのできる管理観察体制を関係機関と調整しながら進めていきたい。</p>

金銭

	寄 付 者	寄 付 金 額	寄 付 目 的	備 考
1	小田原市栄町 1-5-22 株式会社 中村屋	73,035 円	青少年健全育成のため	学校図書として 偉人伝を購入予 定

演劇無料提供

	寄 付 者	公 演 名	寄 付 目 的	備 考
1	横浜市青葉区あざみ野 1-24-7 四季株式会社 代表 取締役社長 佐々木 典夫	劇団四季ミュー ジカル『人間にな りたがった猫』	青少年の情操教育のため	市立小学校に通 う小学4年生等が 対象

物品

	寄 付 者	寄 付 物 品	見 積 額	使 途 先
1	小田原市酒匂 6-8-26 小田原市立酒匂幼稚園 保護者と教師の会 会長 手島 敦子	屋外用移動式アンプ 1台 バルーン 1つ	103,000 円	酒匂幼稚園
2	小田原市国府津 2880 (株)日立グローバルスト レージテクノロジーズ	ロッカー 22点 キャビネット 15点 机・OA机 7点 作業机・台 2点 椅子 3点 ラック 1点 台車 1点	中古のため 不明	市立小中学校
3	小田原市下曾我333 小田原市立下曾我小学 校PTA簡保団	ジェットヒーター 2台 ジェットヒーター専用ガードフェンスセッ ト 2セット パソコン室用椅子 20脚	177,870 円	下曾我小学校
4	小田原市南町 1-1-40 財団法人小田原市公益 事業協会 理事長 野口 孝二	変り種自転車 2台	264,600 円	酒匂川左岸 サイクリング場
5	小田原市羽根尾410 小田原市立橘中学校 PTA 会長 椎野 民子	リソグラフ RP350 1台	50,000 円	橘中学校
6	小田原市国府津 2880 (株)日立グローバルスト レージテクノロジーズ	OA机 22点 作業台 4点	中古のため 不明	市立小中学校

7	埼玉県入間市新久 553-4 笠井 保成	壺圓札(二宮尊徳肖像画) 10枚	10 円	尊徳記念館
8	小田原市酒匂 3-12-17-205 第二回小 田原映画祭実行委員会 有志 田代 勝利	映画館 小田原オリオン座関係資料 カラーフィルム等 9件16点	不明	郷土文化館
9	小田原市国府津 2880 (株)日立グローバルスト レージテクノロジーズ	事務机 7点 事務用椅子 31点 キャビネット 7点	中古のため 不明	市立小中学校、 幼稚園、教育委 員会
10	西村 シュク (氏名のみ公表可)	松永耳庵書「山海関」 1葉 松永耳庵書「喫茶去」 1面 松永安左エ門葉書 西村郁郎宛 1葉	不明	郷土文化館
11	小田原市栄町 1-2-11 小田原遊戯場組合 組合長 原田 昭治郎	非行防止啓発用ビデオテープ 3 本	200,000 円	青少年相談 センター
12	匿名	デジタルタイマー 1台 デジタル握力計 1台 マルチプリンター 1台 DVDプレイヤー 1台 モノクロレーザープリンター 1台 ホームページビルダー(ソフト) 1個 どこでもPDF(ソフト) 1個 プリンターインク(エプソン) 1個 プリンターインク(キャノン) 1個	200,000 円	城山中学校
13	足柄下郡箱根町湯本 474 小宮 義一	松永耳庵書「潮来天地皆一青」 1幅 松永耳庵書「天高く馬肥へ」 1幅	700,000 円	郷土文化館